

【学級閉鎖期間における課題の例】

以下は課題の例であり、必ず取り組まなければならないものではありません。学校が再開しましたら、授業の中でも改めて学習いたします。お子さんの様子に応じて、無理のない範囲でご活用ください。

○ こくご

- ・ 『ひろがることば しょうがくこくご一上』

(1) 30 から 33 ページ「くまさんと ありさんの ごあいさつ」を音読する。
くまさんのあいさつは、大きな声で、ありさんのあいさつは、小さな声で読む。

(2) 36, 37 ページ「ほんを よもう」を音読する。

ご家庭に絵本がある場合は、絵本を声に出して読む。

(3) 40, 41 ページ「たのしく よもう 1 (あいうえおの うた)」を音読する。

① 「あ」「い」「う」「え」「お」の口形を意識しながら、はっきりとした声で読む。

② 速度を上げて読む。

(4) 44 から 49 ページ「けむりの きしゃ」

① 口形を意識しながら、はっきりとした声で読む。

② 絵を見て、どこに、何が、どのようにあるのかを 確かめる。

例：ながればしは、どこにあるか？

ながればしは、どのように落ちてきているか？

おじいさんは、何をしているか？

おじいさんは、どこにいるか？

おじいさんは、どのような顔をしているか？ など。

(5) 134 ページ「ひらがなの ひょう」

① 書き順に気を付けながら、ひらがなをなぞる。

② 一面のひらがなから順に、始筆の位置をたしかめながら、ノートに書く。

※ ノートは、HP からダウンロードして、ご使用ください。

③ 示されている語をノートに書く。

例：あさがお おばあさん いす おじいさん とけい

○ しょしゃ

(1) 『しょしゃーねん』

10 ページ 「2 かきじゅん」を読む。

○ さんすう

(1) 『あたらしいさんすう 1 ①』

① 16, 17 ページ「かずを かこう」に取り組む。

② 18, 19 ページ「かぞえよう」「せんでむすぼう」に取り組む。

(2) 『さんすうドリル 12』まで取り組む。

付箋紙が付いている場合は、間違い直しを行う。

(3) タブレット端末を利用した学習

① 「あといくつで 10 になるかな」

※ タブレット端末で、『あたらしいさんすう 1 ①』の 1 ページの QR コードを読み込むと取り組むことができます。

② 『さんすうドリル』の各ページの見出しに記載されている QR コードを読み込むと動画を視聴することができます。

○ たいいく

- ・ 本校のホームページ上にアップされている桐の子スポーツ祭のパフォーマンス動画を見ながら踊る（曲：緑黄色社会「Mela!」）。

※パスワード等は 5 月 18 日に送信されたツイタもんをご覧ください。